

二九二三番

ただ今日も 君に逢はめど 人言を 繁み逢はず
て 恋ひ渡るかも

二九二四番

世の中に 恋繁けむと 思はねば 君が手本を
まかぬ夜もありき

二九二五番

みどり子の ためこそ乳母は 求むといへ 乳飲
めや君が 乳母求むらむ

二九二六番

悔しくも 老いにけるかも 我が背子が 求むる
乳母に 行かましものを